



2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年5月13日

上場会社名 株式会社 大真空

上場取引所 東

コード番号 6962 URL <https://www.kds.info>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯塚 実

問合せ先責任者 (役職名) 上級執行役員 財務本部 本部長 (氏名) 林 邦春

TEL 079-426-3211

定時株主総会開催予定日 2022年6月29日

配当支払開始予定日

2022年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2022年6月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期の連結業績(2021年4月1日～2022年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	41,306	24.5	5,194	148.7	6,547	158.5	3,848	214.6
2021年3月期	33,189	11.1	2,089	652.2	2,533	636.3	1,223	342.7

(注) 包括利益 2022年3月期 7,537百万円 (75.6%) 2021年3月期 4,292百万円 (—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年3月期	119.21	—	12.6	8.7	12.6
2021年3月期	37.89	—	4.6	3.8	6.3

(参考) 持分法投資損益 2022年3月期 一百万円 2021年3月期 一百万円

※当社は2021年11月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	81,317	40,231	40.7	1,026.09
2021年3月期	68,627	33,769	40.6	864.05

(参考) 自己資本 2022年3月期 33,121百万円 2021年3月期 27,893百万円

※当社は2021年11月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年3月期	8,762	△5,176	382	18,516
2021年3月期	2,707	△5,388	870	13,940

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年3月期	—	10.00	—	25.00	35.00	282	23.1	1.1
2022年3月期	—	25.00	—	12.00	—	589	15.3	1.9
2023年3月期(予想)	—	14.00	—	14.00	28.00		23.2	

※当社は2021年11月1日付で普通株式1株を4株とする株式分割を実施しております。2022年3月期の第2四半期以前の配当金については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しておりますので、年間配当金合計は「—」として記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の期末配当金は1株当たり48円、年間配当金は1株当たり73円となります。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,600	10.4	6,000	15.5	5,800	△11.4	3,900	1.3	120.82

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料12ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記(5)連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期	36,196,968 株	2021年3月期	36,196,968 株
② 期末自己株式数	2022年3月期	3,917,336 株	2021年3月期	3,915,076 株
③ 期中平均株式数	2022年3月期	32,280,506 株	2021年3月期	32,284,089 株

※2021年11月1日付で普通株式1株を4株とする株式分割を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

(参考)個別業績の概要

2022年3月期の個別業績(2021年4月1日～2022年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	30,851	27.8	2,134	861.5	3,845	221.6	3,216	267.0
2021年3月期	24,141	5.7	222	—	1,196	736.5	876	38.7

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期	99.65	—
2021年3月期	27.15	—

※当社は2021年11月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を実施しております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
2022年3月期	59,768		30,534	51.1			945.93	
2021年3月期	54,095		27,613	51.0			855.38	

(参考) 自己資本 2022年3月期 30,534百万円 2021年3月期 27,613百万円

※当社は2021年11月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を実施しております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

2022年6月7日開催予定の決算説明会後、当社ホームページに記載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
4. その他	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2021年4月1日～2022年3月31日）における経済環境は、国内では設備投資が増加し、欧米では個人消費が拡大傾向となりました。加えて、各国で新型コロナウイルスのワクチン接種が普及したこともあり、世界経済は総じて回復基調で推移しました。しかしながら、新型コロナウイルス変異株による感染再拡大や、半導体不足の長期化、ウクライナ情勢など、経済活動へのリスク要因が顕在化し、先行き不透明な状況が継続しています。

このような環境の中、当社グループでは車載マーケットの回復や5G対応スマートフォンの拡大など通信、車載、民生、産業、全ての分野で販売が増加し、売上高は41,306百万円（前期比24.5%増）となりました。利益面につきましては、売上の増加に加え、プロダクトミックスの改善、価格是正の効果などにより営業利益は5,194百万円（前期比148.7%増）となりました。また、年度末にかけて円安が進行したため為替差益1,317百万円を営業外収益に計上し、経常利益は6,547百万円（前期比158.5%増）となりました。特別損失に固定資産除却損201百万円、減損損失293百万円を計上し、親会社株主に帰属する当期純利益は3,848百万円（前期比214.6%増）となりました。なお、全ての利益におきまして過去最高益を更新しました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産は81,317百万円であり、前連結会計年度末と比較して12,689百万円増加しております。これは主に現金及び預金並びに建設仮勘定の増加などによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債は41,086百万円であり、前連結会計年度末と比較して6,228百万円増加しております。これは主に借入金の増加などによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は40,231百万円であり、前連結会計年度末と比較して6,461百万円増加しております。これは主に利益剰余金の増加などによるものであります。

これらにより自己資本比率は0.1ポイント増加して、40.7%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計期間の連結キャッシュ・フローの状況は、それぞれ次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は8,762百万円となりました。これは主に税金等調整前当期純利益などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は5,176百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は382百万円となりました。これは主に長期借入れによる収入などによるものであります。

これらの結果、当連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は前連結会計期間末に比べ4,575百万円増加し、当連結会計期間末には18,516百万円となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
自己資本比率	43.8 %	43.6 %	39.8 %	40.6 %	40.7 %
時価ベースの 自己資本比率	17.4 %	14.7 %	19.0 %	29.1 %	48.0 %
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率	24.8 年	20.7 年	35.6 年	9.7 年	3.2 年
インタレスト・カバ レッジ・レシオ	6.6	7.8	5.7	23.7	66.7

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※ いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※ 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

※ キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

※ 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

今後の経済環境におきましては、新型コロナウイルスの感染再拡大によるロックダウンを伴う経済活動の混乱、ウクライナ情勢に端を発するエネルギー資源の高騰やFRBの金融引き締めによる為替レートの変動など様々なリスクが懸念され、依然として経済活動の安定化には時間を要すると思われま。

タイミングデバイスマーケットにおいて、自動運転を含め無線通信が必要不可欠な「IoT」を中心に拡大を疑う余地はありませんが、当社を取り巻く環境としては、半導体不足の影響などが顕在化し、スマホや無線通信モジュールなど通信市場の動きに停滞感が継続しています。特に中国セグメントにおいては、新型コロナウイルスの感染再拡大によるロックダウンの影響を受け、物流やお客様の稼働状況に混乱が生じています。

しかし、そのような市場環境においてもスマホの5Gシフトは進展すると見込んでおり、フォトリソタイプを中心に小型／高周波製品を増産いたします。また、車載や産業マーケットは引き続き堅調なマーケット環境が継続しており、前期から準備を進めていた生産能力の増強が寄与すると考えています。

一方で、部材不足や材料の高騰による生産活動への影響などのリスクも想定されます。これらのリスクに対し、当社グループでは外部調達比率を低減した当社オリジナルの「Arkシリーズ」や、その技術を応用した「モールドタイプ」の量産立ち上げ、BCP（事業継続計画）も考慮し機種や場所を問わず単位面積当たりのアウトプットを向上させる「フレキシブルライン」の構築など、「安定供給」と「環境対応」をキーワードに当社オリジナルの新たな価値を創造し、持続的な社会の成長／発展を可能とするサステナブル企業として邁進してまいります。

次期の連結業績見通しにつきましては、売上高45,600百万円、営業利益6,000百万円、経常利益5,800百万円、親会社株主に帰属する当期純利益3,900百万円を想定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、引き続き日本基準を採用することとしております。今後のIFRS（国際財務報告基準）の適用については、グローバル展開・内外の情勢等を踏まえながら検討しています。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,316,276	18,516,683
受取手形及び売掛金	9,318,670	9,940,268
契約資産	—	204,417
電子記録債権	58,736	—
商品及び製品	5,142,464	5,839,701
仕掛品	4,822,306	4,976,962
原材料及び貯蔵品	4,824,772	5,716,907
その他	1,465,354	1,864,112
貸倒引当金	△10,876	△9,478
流動資産合計	39,937,705	47,049,574
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,593,693	19,557,199
減価償却累計額	△16,495,841	△16,390,366
建物及び構築物 (純額)	3,097,851	3,166,833
機械装置及び運搬具	51,118,206	54,306,594
減価償却累計額	△39,770,637	△41,772,996
機械装置及び運搬具 (純額)	11,347,569	12,533,597
工具、器具及び備品	5,943,654	6,076,312
減価償却累計額	△5,064,312	△5,107,177
工具、器具及び備品 (純額)	879,341	969,135
土地	5,835,759	5,803,771
リース資産	874,938	906,815
減価償却累計額	△250,924	△396,786
リース資産 (純額)	624,013	510,029
建設仮勘定	1,993,553	4,701,569
有形固定資産合計	23,778,088	27,684,936
無形固定資産	134,278	569,853
投資その他の資産		
投資有価証券	2,636,452	3,276,853
長期貸付金	1,840	1,548
退職給付に係る資産	485,876	720,102
繰延税金資産	443,237	800,879
その他	1,238,229	1,241,887
貸倒引当金	△27,800	△27,800
投資その他の資産合計	4,777,836	6,013,470
固定資産合計	28,690,203	34,268,259
資産合計	68,627,909	81,317,834

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,612,017	3,882,669
短期借入金	2,375,941	3,199,497
1年内返済予定の長期借入金	7,976,334	6,346,612
リース債務	180,281	196,001
未払金	1,779,234	3,610,751
未払法人税等	558,020	1,335,991
契約負債	—	807
賞与引当金	400,810	724,959
役員賞与引当金	—	15,000
その他	1,186,840	1,349,251
流動負債合計	17,069,481	20,661,542
固定負債		
長期借入金	15,146,123	17,769,476
リース債務	459,421	330,669
繰延税金負債	958,382	1,008,881
退職給付に係る負債	982,166	1,092,986
長期未払金	105,190	93,247
資産除去債務	26,931	27,379
その他	110,654	102,634
固定負債合計	17,788,871	20,425,275
負債合計	34,858,353	41,086,817
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,344,883	19,344,883
資本剰余金	7,158,625	7,168,224
利益剰余金	686,659	4,131,434
自己株式	△1,926,323	△1,928,693
株主資本合計	25,263,844	28,715,849
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	953,861	1,287,673
繰延ヘッジ損益	△104,639	—
為替換算調整勘定	1,155,327	2,551,740
退職給付に係る調整累計額	624,761	566,533
その他の包括利益累計額合計	2,629,311	4,405,948
非支配株主持分	5,876,399	7,109,218
純資産合計	33,769,556	40,231,016
負債純資産合計	68,627,909	81,317,834

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
売上高	33,189,369	41,306,270
売上原価	24,867,805	29,081,664
売上総利益	8,321,563	12,224,605
販売費及び一般管理費	6,232,534	7,029,667
営業利益	2,089,029	5,194,937
営業外収益		
受取利息	30,649	43,661
受取配当金	50,541	56,850
為替差益	399,832	1,317,446
補助金収入	63,703	—
その他	216,263	240,212
営業外収益合計	760,991	1,658,171
営業外費用		
支払利息	114,230	131,381
支払補償費	104,324	45,810
支払手数料	45,454	90,909
その他	52,732	37,096
営業外費用合計	316,742	305,197
経常利益	2,533,278	6,547,911
特別利益		
固定資産売却益	9,664	14,022
投資有価証券売却益	49,630	—
関係会社清算益	41,875	—
特別利益合計	101,170	14,022
特別損失		
固定資産売却損	587	22
固定資産除却損	115	201,381
減損損失	221,630	293,525
投資有価証券売却損	—	470
投資有価証券評価損	24,032	—
事業移管損失	40,713	—
その他	3,531	—
特別損失合計	290,611	495,400
税金等調整前当期純利益	2,343,837	6,066,534
法人税、住民税及び事業税	566,912	1,408,395
過年度法人税等	—	69,017
法人税等調整額	94,443	△314,045
法人税等合計	661,355	1,163,368
当期純利益	1,682,482	4,903,165
非支配株主に帰属する当期純利益	459,079	1,054,875
親会社株主に帰属する当期純利益	1,223,402	3,848,289

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
当期純利益	1,682,482	4,903,165
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,067,118	656,068
繰延ヘッジ損益	△58,045	104,639
為替換算調整勘定	1,111,113	1,931,384
退職給付に係る調整額	489,542	△57,848
その他の包括利益合計	2,609,729	2,634,244
包括利益	4,292,211	7,537,409
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,023,812	5,624,927
非支配株主に係る包括利益	1,268,398	1,912,482

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	19,344,883	7,158,606	△334,959	△1,924,021	24,244,509
当期変動額					
剰余金の配当			△201,783		△201,783
親会社株主に帰属する当期純利益			1,223,402		1,223,402
自己株式の取得				△2,302	△2,302
自己株式の処分		18			18
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	18	1,021,619	△2,302	1,019,335
当期末残高	19,344,883	7,158,625	686,659	△1,926,323	25,263,844

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	305,500	△46,593	434,402	135,591	828,900	5,107,094	30,180,505
当期変動額							
剰余金の配当							△201,783
親会社株主に帰属する当期純利益							1,223,402
自己株式の取得							△2,302
自己株式の処分							18
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	648,361	△58,045	720,924	489,169	1,800,410	769,305	2,569,715
当期変動額合計	648,361	△58,045	720,924	489,169	1,800,410	769,305	3,589,050
当期末残高	953,861	△104,639	1,155,327	624,761	2,629,311	5,876,399	33,769,556

当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	19,344,883	7,158,625	686,659	△1,926,323	25,263,844
当期変動額					
剰余金の配当			△403,515		△403,515
親会社株主に帰属する当期純利益			3,848,289		3,848,289
自己株式の取得				△2,411	△2,411
自己株式の処分		85		41	126
連結子会社株式の取得による持分の増減		9,514			9,514
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					-
当期変動額合計	-	9,599	3,444,774	△2,369	3,452,004
当期末残高	19,344,883	7,168,224	4,131,434	△1,928,693	28,715,849

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	953,861	△104,639	1,155,327	624,761	2,629,311	5,876,399	33,769,556
当期変動額							
剰余金の配当							△403,515
親会社株主に帰属する当期純利益							3,848,289
自己株式の取得							△2,411
自己株式の処分							126
連結子会社株式の取得による持分の増減							9,514
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	333,812	104,639	1,396,413	△58,227	1,776,637	1,232,819	3,009,456
当期変動額合計	333,812	104,639	1,396,413	△58,227	1,776,637	1,232,819	6,461,460
当期末残高	1,287,673	-	2,551,740	566,533	4,405,948	7,109,218	40,231,016

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,343,837	6,066,534
減価償却費	2,921,268	3,494,563
長期前払費用償却額	76,167	76,167
減損損失	221,630	293,525
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	8,725	△1,991
賞与引当金の増減額 (△は減少)	190,568	324,093
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	15,000
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△485,876	△234,226
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	223,409	△25,689
受取利息及び受取配当金	△81,191	△100,512
支払利息	114,230	131,381
為替差損益 (△は益)	△242,462	△372,765
投資有価証券評価損益 (△は益)	24,032	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△49,630	470
有形固定資産売却損益 (△は益)	△9,077	△14,000
有形固定資産除却損	115	192,881
関係会社清算損益 (△は益)	△41,875	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△595,669	197,848
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,151,440	△724,754
仕入債務の増減額 (△は減少)	△707,976	287,930
その他	224,818	△30,594
小計	2,983,604	9,575,861
利息及び配当金の受取額	81,191	100,512
利息の支払額	△114,131	△130,429
法人税等の支払額	△242,876	△783,093
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,707,787	8,762,851
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△354,107	△379,670
定期預金の払戻による収入	—	768,607
有価証券の取得による支出	△398,146	—
有価証券の売却による収入	429,189	—
有形固定資産の取得による支出	△4,927,007	△5,667,687
有形固定資産の売却による収入	32,071	306,577
無形固定資産の取得による支出	△9,417	△137,181
関係会社の清算による収入	71,875	—
投資有価証券の取得による支出	△9,192	△9,493
投資有価証券の売却による収入	66,000	37,947
貸付けによる支出	△2,230	△200
貸付金の回収による収入	1,352	941
その他	△289,368	△96,615
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,388,980	△5,176,774

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	558,434	619,038
長期借入れによる収入	8,940,800	14,335,028
長期借入金の返済による支出	△8,051,075	△13,636,157
リース債務の返済による支出	△134,557	△131,405
配当金の支払額	△201,038	△401,876
非支配株主への配当金の支払額	△194,069	△308,603
自己株式の売却による収入	136	126
自己株式の取得による支出	△2,420	△2,411
その他	△45,454	△90,909
財務活動によるキャッシュ・フロー	870,754	382,831
現金及び現金同等物に係る換算差額	430,257	606,890
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,380,181	4,575,798
現金及び現金同等物の期首残高	15,321,066	13,940,884
現金及び現金同等物の期末残高	13,940,884	18,516,683

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（収益認識に関する会計基準等の適用）

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下、「収益認識会計基準」という。）等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これによる当連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

また、前連結会計年度の連結財務諸表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当連結会計年度より「受取手形及び売掛金」及び「契約資産」に含めて表示し、「流動負債」に表示していた「その他」は、当連結会計年度より「契約負債」及び「その他」に含めて表示しております。

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる当連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り）

当社グループでは、固定資産の減損会計等の会計上の見積りについて、連結財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき実施しております。新型コロナウイルス感染症の収束時期は、引き続き不透明な状況が継続すると見込まれるものの、各地域での感染拡大収束に伴い需要は徐々に回復していくことを前提としております。なお、今後の新型コロナウイルス感染症の広がりにもなう経済活動への影響等には不確定要素も多いため、前提に変化が生じた場合、当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検証を行う対象となっているものであります。

当社グループは、水晶応用電子部品を生産・販売しており、国内においては当社が、海外においては米国、欧州、中国、台湾、アジアの各地域をDAISHINKU(AMERICA)CORP. (米国)、DAISHINKU(DEUTSCHLAND)GmbH (欧州)、大真空(香港)有限公司(中国)、天津大真空有限公司(中国)、加高電子股份有限公司及びその子会社(台湾)、DAISHINKU(SHINGAPORE)PTE. LTD. (アジア)、DAISHINKU(THAILAND)CO.,LTD. (アジア)、PT. KDS INDONESIA (アジア)が、それぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社の報告セグメントは生産・販売体制を基礎とした所在地別のセグメントから構成されており、「日本」、「北米」、「欧州」、「中国」、「台湾」及び「アジア」の6つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	北米 (注) 3	欧州 (注) 3	中国	台湾	アジア (注) 3	計		
売上高									
外部顧客への売上高	5,573,164	1,148,339	2,392,308	12,959,738	9,364,810	1,751,007	33,189,369	—	33,189,369
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	18,565,548	48,475	9,108	1,918,586	2,375,361	5,316,518	28,233,599	△28,233,599	—
計	24,138,712	1,196,815	2,401,417	14,878,325	11,740,172	7,067,525	61,422,968	△28,233,599	33,189,369
セグメント利益 又は損失(△)	238,219	6,390	△3,815	493,499	1,372,621	58,666	2,165,582	△76,553	2,089,029
セグメント資産	41,920,617	619,759	1,111,785	10,418,585	19,828,379	6,056,810	79,955,938	△11,328,029	68,627,909
その他の項目									
減価償却費	1,318,310	1,288	2,019	106,762	804,984	372,586	2,605,951	△58,175	2,547,775
減損損失	106,587	—	—	102,769	70,558	—	279,915	△58,285	221,630
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	1,649,996	—	2,131	372,156	2,031,963	170,464	4,226,712	△3,832	4,222,880

(注) 1. 調整額は、以下の通りであります。

(1) セグメント利益又は損失の調整額△76,553千円には、セグメント間取引消去18,604千円、その他の調整額△95,157千円が含まれております。

(2) セグメント資産の調整額△11,328,029千円には、セグメント間の債権と債務の相殺消去額△10,700,171千円、その他の調整額△627,857千円が含まれております。

(3) 減価償却費、減損損失、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主として未実現利益の消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

3. 日本、中国、台湾以外の各セグメントに属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。

- (1) 北米……………米国
- (2) 欧州……………ドイツ
- (3) アジア……………インドネシア、シンガポール、タイ

4. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報

当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	北米 (注) 3	欧州 (注) 3	中国	台湾	アジア (注) 3	計		
売上高									
顧客との契約から生じる収益 (注) 4	8,238,442	1,498,542	3,150,279	14,772,541	11,353,102	2,293,360	41,306,270	—	41,306,270
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	8,238,442	1,498,542	3,150,279	14,772,541	11,353,102	2,293,360	41,306,270	—	41,306,270
セグメント間の内部売上高又は振替高	22,611,938	61,056	6,703	2,838,184	2,981,057	5,885,941	34,384,881	△34,384,881	—
計	30,850,381	1,559,599	3,156,983	17,610,725	14,334,159	8,179,301	75,691,151	△34,384,881	41,306,270
セグメント利益	2,153,289	20,834	59,858	471,700	2,650,217	93,412	5,449,313	△254,375	5,194,937
セグメント資産	47,864,380	822,220	1,281,348	12,088,652	25,661,114	7,207,784	94,925,501	△13,607,666	81,317,834
その他の項目									
減価償却費	1,562,327	1,520	2,067	149,599	1,028,890	426,946	3,171,352	△21,145	3,150,207
減損損失	266,634	—	—	—	26,891	—	293,525	—	293,525
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	2,796,879	—	3,529	755,983	2,855,247	874,859	7,286,499	△9,528	7,276,971

(注) 1. 調整額は、以下の通りであります。

(1) セグメント利益の調整額△254,375千円には、セグメント間取引消去12,117千円、その他の調整額△266,493千円が含まれております。

(2) セグメント資産の調整額△13,607,666千円には、セグメント間の債権と債務の相殺消去額△12,922,286千円、その他の調整額△685,380千円が含まれております。

(3) 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主として未実現利益の消去であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

3. 日本、中国、台湾以外の各セグメントに属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。

- (1) 北米……………米国
- (2) 欧州……………ドイツ
- (3) アジア……………インドネシア、シンガポール、タイ

4. 繰延ヘッジ損益から生じる収益は、金額の重要性が乏しいため顧客との契約から生じる収益に含めております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
1株当たり純資産額	864.05円	1,026.09円
1株当たり当期純利益金額	37.89円	119.21円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 2021年11月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益金額を算定しております。
3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	1,223,402	3,848,289
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額 (千円)	1,223,402	3,848,289
普通株式の期中平均株式数 (千株)	32,284	32,280

4. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	33,769,556	40,231,016
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	5,876,399	7,109,218
(うち非支配株主持分) (千円)	(5,876,399)	(7,109,218)
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	27,893,156	33,121,797
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数 (千株)	32,281	32,279

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他
役員の異動

① 代表取締役の異動

該当事項はありません。

② その他の役員の異動

・退任予定取締役

取締役 岡原 博文

取締役 広嶋 敏郎

・新任監査等委員である取締役候補

取締役 前田 宏

(非常勤) 取締役 牛島 慶太

(非常勤) 取締役 花崎 敏明

(注) 牛島 慶太、花崎 敏明は社外取締役の候補者であります。

・退任予定監査役

監査役 丸山野 賀之

③ 就任及び退任予定日

2022年6月29日